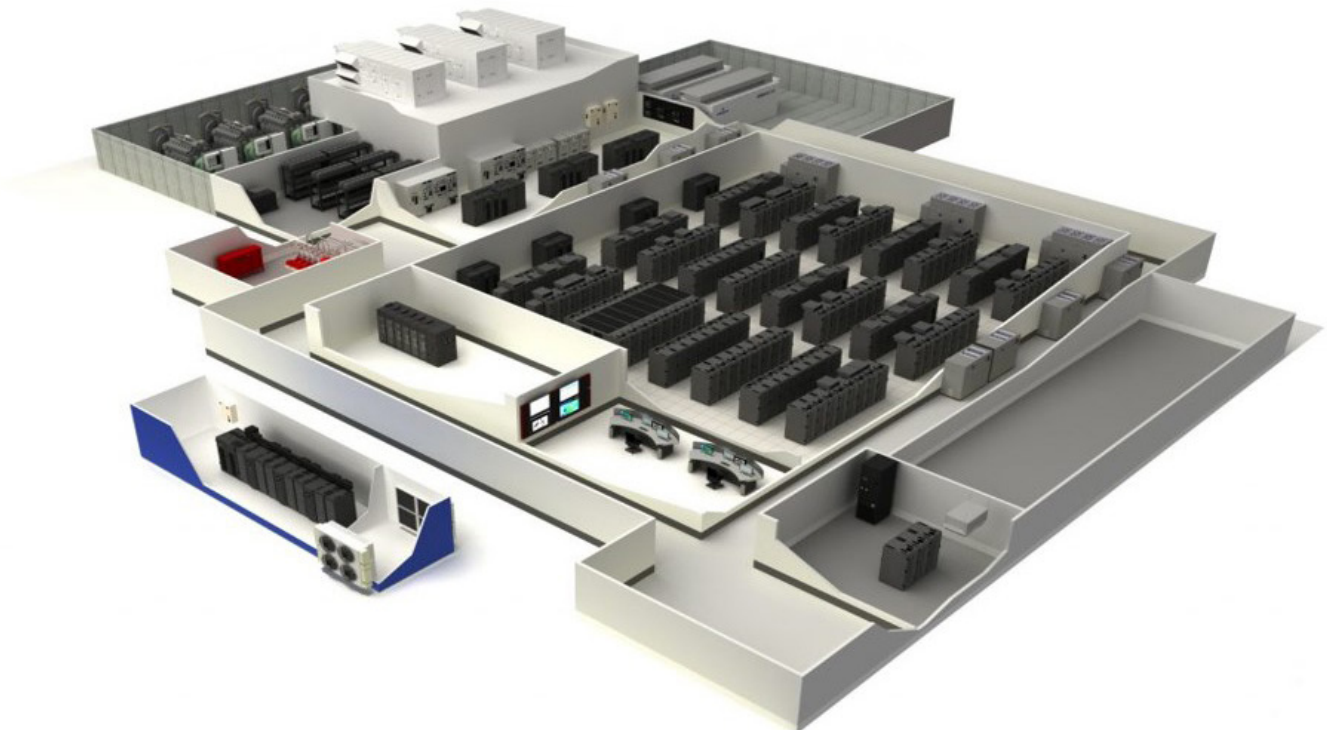
PANDUIT™

ATLONA a PANDUIT company

マルチテナントデータセンターの AV ソリューション



初期構築の際に AV 機能を追加して効率を向上

マルチテナントデータセンター (MTDC) のプロバイダーが重視するのは、テナントへのサービス提供です。そのため一般的にそのサービスはデータセンターを中心に置かれます。例えば、電力、キャビネット、熱制御、セキュリティ、テナントのニーズを十分満たすために必要な帯域幅などが挙げられます。

AV ソリューションも、このようなサービス全体の一部です。多くの場合、AV のソリューションと要件は見落とされたり、他の設備が完成するまでその検討が延期されたりします。しかし、AV のニーズをインフラストラクチャの計画や設計に組み込むことで、しかるべきときに AV ソリューションを簡単かつ安価に追加できるようになります。AV のインフラストラクチャや装置は、初期工事で設置するインフラストラクチャの延長線上にあるべきものです。

MTDC の設備で他のパンドウイットのソリューションを設計するときこそ、そのようなソリューションを補助する Atlona AV のソリューションとインフラストラクチャを組み込む適切なタイミングです。

MTDC では通常、AV をどのような場面で活用するのでしょうか。AV の一般的な利用場所を以下にいくつか挙げます。

- デジタルサイネージ
- ネットワークオペレーションセンター
- 会議室

上記の用途ごとに、独自の要件と装置設計があります。

デジタルサイネージ

多くの場合、MTDC の敷地の本館やオフィスにあたる建物は、テナントの利用を検討しているお客様への対応、見学ツアー、訪問者との打ち合わせなどに使われます。こういった場所で見込み客に適切なメッセージを伝える重要な役割を果たすのが、デジタルサイネージです。

Atlona **OmniStream**™ は、柔軟性が高く、拡張性があり、費用対効果の高い AV over IP 配信プラットフォームで、デジタルサイネージの導入に理想的です。

AT-OMNI-112 デュアルチャネルネットワーク AV エンコーダーは、ギガビットイーサネットインフラストラクチャで最大 4K/UHD、HDR の画質で 2 つの HDMI ソースをエンコードします。エンコーダーに接続するソースは、コンピュータ、セットトップボックス、メディアプレイヤーを組み合わせることができ、非常に幅広いコンテンツをデジタルサイネージのディスプレイに表示できます。例えば、企業のプロモーションビデオ、ツアーの案内やビデオ、ソーシャルメディアのフィード、ニュース、イベントのスケジュールなどの表示に利用できます。

シングルチャネルネットワーク AV デコーダーである **AT-OMNI-121** は、ネットワークストリームをデコードして画像処理を行い、割り当てられたディスプレイに最大 4K/UHD、HDR の AV コンテンツと制御信号を出力します。

OmniStream のエンドポイントは、ロゴやスクロールするテキストのオーバーレイ表示のほか、保存しておいた画像を表示することも可能です。そのため、ストリーミングが必要ない場合は、ロゴや詳しい連絡先などの一般的な情報をコンテンツとして表示できます。

Atlona **AT-VGW-HW-3 Velocity**™ ハードウェアゲートウェイは、システムの中央制御装置の役割を果たします。このゲートウェイは、ネットワーク接続を利用して、エンコーダーとデコーダーのルーティング、ディスプレイの電源や音量の制御を行います。Atlona **AT-VTP-800** タッチパネルを使うと、直感的なユーザーアクセスで表示するソースを選択できます。

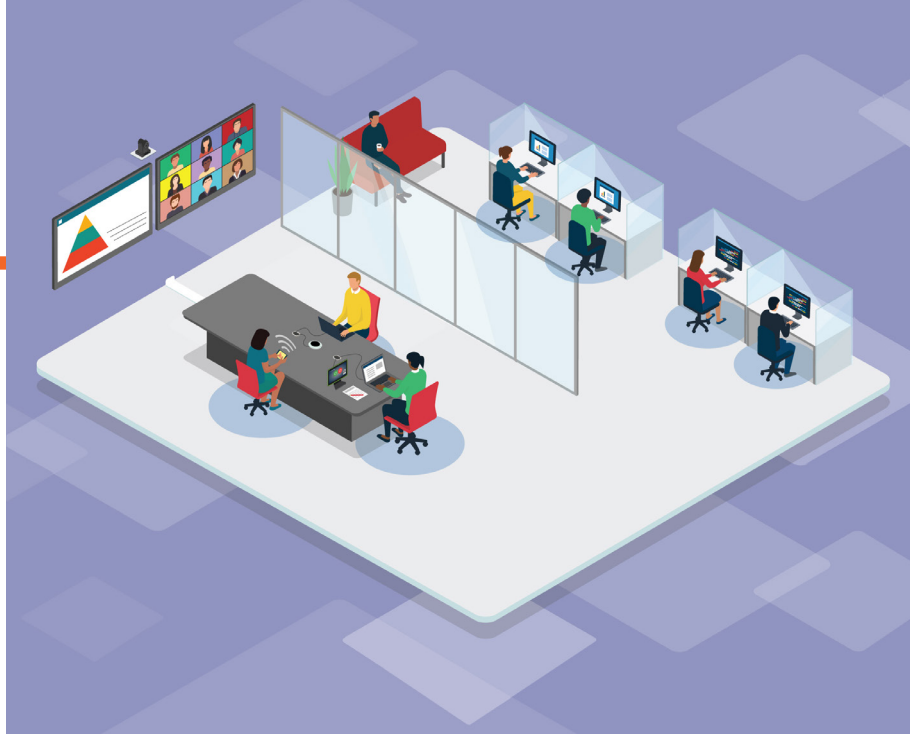
ネットワークオペレーションセンター (NOC)

データセンターの整合性を確保するために組織的なサポートを集中的に行うネットワーク運用センター (NOC) も、AV インフラストラクチャの重要な利用場所です。例えば、遠く離れた拠点から NOC に信号を送り、マルチスクリーンビデオウォールを運用ダッシュボードやシステム監視として利用することができます。

このようなビデオウォールはデジタルサイネージの応用なので、Atlona やパンドウイットが提供する同様の AV over IP ソリューションを NOC の設計に活用できます。OmniStream のエンコーダーとデコーダーを使うと、ソースコンピュータのストリームをビデオウォールディスプレイに配信できます。視覚的ロスレス技術が組み込まれているので、ビデオストリームは NOC のビデオウォールなどの AV over IP 接続ディスプレイに遅延なく到達し、リアルタイムの応答性が保証されます。

オフィス/会議室

マルチテナントデータセンターには、テナントがオンサイトでの作業や打ち合わせを行うためのオフィスや会議スペースが必要です。こういった会議室やオフィスは、異なる組織の複数の人々が使う可能性があるので、AV 技術はコスト効率が高く、使いやすい形で複数の入出力に対応できる必要があります。ビデオ会議機能を追加すると、地理的に離れた場所でも共同作業を行うことができます。



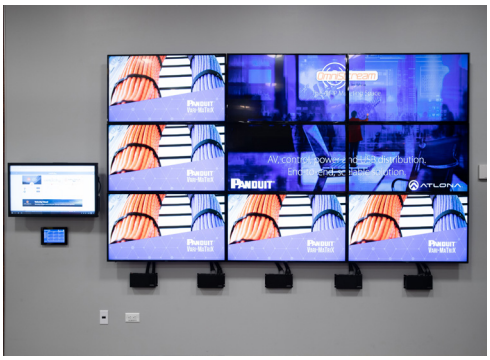
Atlona **Omega**™ シリーズは、最新のミーティングや会議スペース用に設計されており、AV プレゼンテーション、コラボレーション、ビデオ会議での利用に理想的です。

Atlona **AT-OME-MS52W** 5 × 2 マトリックススイッチャー with USB (ワイヤレスリンク対応) は、AV システムの中核です。会議室のデスクに取り付けることができ、USB-C、HDMI®、DisplayPort 接続に対応しているため、どのような BYOD デバイスや会議室に常設されている PC でもシステムに接続できます。さらに、ワイヤレス AV キャストをネイティブでサポートしており、専用のアプリをダウンロードして使わなくても、デバイスのコンテンツをミラーリングできます。AT-OME-MS52W は、すべてのオーディオソースおよびレベルを管理し、ステレオオーディオ出力を通じてコンテンツをアンプに渡します。

また、Atlona AT-OME-MS52W は HDMI と HDBaseT の両方のビデオ出力に対応しており、同じコンテンツでも別々のコンテンツでも表示できます。このマトリックス機能は、別々のアイデアを評価する場合や、ビデオ会議でプレゼンテーションも参加者も映す必要がある場合など、2 つのソースを同時に表示する場合に欠かせません。

Atlona **AT-HDVS-CAM** は、従来のウェブカムよりも画質が優れたプロフェッショナルグレードのビデオを提供します。電動によるパン、傾き、ズームに対応し、プリセットもサポートされており、正確なフレーミングを行ったり、さまざまなミーティングの設定を記憶させることができます。

Atlona の **Velocity**™ Control System を使うと、簡単に AV システムを制御できます。Atlona **AT-VTP-1000VL** タッチパネルによる直感的なグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) で、システムの電源、オーディオレベル、ソースの選択、カメラのプリセット、会議室のスケジューリングなどに便利にアクセスできます。Atlona **AT-VGW-HW-3** Velocity ハードウェアゲートウェイは、システムの中央制御装置の役割を果たします。このゲートウェイは、ネットワーク接続を利用して、タッチパネルや BYOD デバイスからユーザー入力を受け取り、ディスプレイの電源、ソース入力の選択、オーディオレベルの設定、その他さまざまな機能を実行するコマンドを送信します。



製品情報

部品番号	詳細
AT-OMNI-112	Atlona OmniStream デュアルチャネルネットワーク AV エンコーダー
AT-OMNI-121	Atlona OmniStream シングルチャネルネットワーク AV デコーダー
AT-OME-MS52W	Atlona Omega 5 × 2 マトリックススイッチャー with USB (ワイヤレスリンク対応)
AT-HDVS-CAM	Atlona PTZ カメラ with USB
AT-VGW-HW-3	Atlona Velocity System ハードウェアゲートウェイ
AT-VTP-800	Atlona Velocity 8 インチタッチパネル
AT-VTP-1000VL	Atlona Velocity 10 インチタッチパネル (ベゼル LED ライト対応)

パンドウイットと Atlona は、MTDC のどのような AV ニーズにも対応いたします。

コロケーションデータセンターへの AV ソリューションの導入について検討されている場合は、
今すぐお問い合わせください。

PANDUIT™

www.panduit.co.jp

ATLONA
a PANDUIT company

www.atlona.com

©2021 Panduit Corp. ALL RIGHTS RESERVED. Printed in the U.S.A. **CPAG30--SA-JPN** 5/2021